

2023 年度 環境経営レポート

対象期間：2023 年 5 月 1 日～2024 年 4 月 30 日



認証番号 0012630

発行日：2024 年 8 月 12 日

株式会社 阪神開発

1. 環境経営方針

環境経営方針

【基本理念】

地球環境問題の改善に取り組むことは、地球という土地に住む人類にとって共通のテーマである。

株式会社阪神開発は事業活動における環境負荷を真摯に受け止め、企業活動と地球環境の調和を目指して、廣川建設株式会社と協力し、全社員が積極的に継続的にその負荷の低減に取り組んでいきます。

【基本方針】

- 1 環境に配慮した事業活動を行い、環境保全活動の推進に努めます。
- 2 環境関連法規・条例を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
- 3 事業活動に伴う電気使用量の削減に努め、CO₂排出量削減します。
- 4 産業廃棄物排出量を抑制するよう努め、発生した廃棄物は、可能な限り分別処理しリサイクルに努めます。
- 5 水使用量の削減に努めます。
- 6 環境経営方針に沿って環境経営目標を設定し、それらの運用・評価・見直しを行います。
- 7 工事現場等の事前環境調査及び環境に優しい資材の採用と資材の使用合理化に努めます。
- 8 経営における課題とチャンスを踏まえ、必要に応じ中長期的環境経営目標を設定し取り組みます。
- 9 環境経営方針を社内に周知し、社外においても環境経営レポートを公開し他者とのコミュニケーションに努めます。

平成 30 年 7 月 1 日 制定

令和 3 年 5 月 1 日 改定

株式会社 阪神開発

代表取締役 広川 静子

2. 組織の概要

(1) 名称(登録組織名)及び代表者名

株式会社 阪神開発

代表取締役 広川 静子

(2) 事業所の所在地(工事現場も含め全組織を対象とする)

本社・事務所 兵庫県西宮市甲子園口 1-2-11-102

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 佐藤 従道 工事部 E-mail : satoh-hk@bcb.bai.ne.jp

連絡先 TEL : 0798-67-2685 FAX : 0798-67-2925

(4) 事業内容(全活動)

兵庫県知事 許可(特-2)第 217327 号

土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業

(5) 対象範囲(認証・登録範囲)

全組織・全活動を対象とする。

(6) 事業規模

資本金 40 百万円

売上高 410 百万円 (2023 年度)

工事件数 5 件

従業員 3 名(2024 年 8 月現在)

延べ床面積 事務所 27 m²

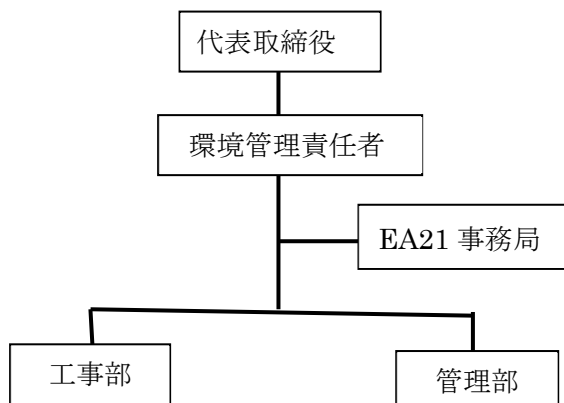
(7) 事業年度

5 月～4 月



1 号 人 孔 設 置 工

3. EA21 の実施体制



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21の推進 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
事務所・工事管理 責任者	・事務所・工事現場における環境経営システムの実施 ・事務所・工事現場における環境経営方針の周知 ・事務所・工事現場の下請け業者に対する環境関連の指導 ・事務所・工事現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・事務所・工事現場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・緊急事態対応手順書の作成とそのテスト、訓練を実施、記録の作成 ・事務所・工事現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・各工事現場のまとめ(工事責任者)
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標・環境経営計画

弊社は、平成 18 年の創業以来、土木工事、とび・土工工事、舗装工事、水道施設工事業を行っておりますが、受託した工事はすべて関係の下請け会社に委託し、工事の進行管理業務のみを行っております。また、事務所は、弊社事務所の隣の廣川建設株式会社※様の一部を使用しております。

電気使用量・水使用量及びコピー紙購入量については、廣川建設株式会社様が一括されており、これの 10% (面積見合い分) を弊社負担としております。電気使用量及びコピー紙購入量についての前年比 1% 削減を数値目標としております。事務所の水使用量はほとんどがお茶、トイレであり、水使用量は数値目標を設定せず、削減取組を行うことを目標とします。

営業活動については、公共交通・自転車の利用で対応しており、自動車の保有はありません。その結果として、ガソリンの使用はありません。軽油につきましても、工事はすべて関係の下請け会社に委託しており、弊社の使用はありません。

事務所の一般廃棄物（ゴミ類）はほとんどなく、廣川建設株式会社様に処理をお願いいたしております。したがって、計測を行っておりません。

産業廃棄物のコンクリート殻・アスファルト殻・がれき類等については、弊社元請け分について弊社がマニフェストを発行し、産業廃棄物排出管理をいたしております。工事内容により大きく変動するため数値目標を設定しておりません。

なお、化学物質の使用はありません。

※廣川建設株式会社 兵庫県西宮市甲子園口 1 丁目 2-11

ISO14001 : JAB 認定番号 CM038 IMJ 審査登録センター 認証番号 ER0012 (H15.8)

ISO9001 : JAB 認定番号 CM038 IMJ 審査登録センター 認証番号 QR0024 (H13.9)

4. 1 過去の環境負荷

2019～2022 年度の環境負荷は、次の通りです。

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
電気使用量	kWh	813	1,373	1,345	1,165
二酸化炭素排出量※1	kg-CO2	401	677	663	574
水使用量	m ³	6.2	6.2	4.2	4.5
コピー紙購入量 (A4 換算)	枚	18,200	12,900	19,850	13,900
産業廃棄物排出量	t	38	150	0	217
産業廃棄物再資源化率※2	%	100	100	-	100

※1 : 関西電力 2016 年度の調整後排出係数「0.493kg-CO₂/kWh」を用いた

※2 : コンクリート殻・アスファルト殻の産業廃棄物再資源化率(2021 年度排出なし)

4. 2 2023 年度の環境経営目標・環境経営計画

2023 年度の環境経営目標・環境経営計画は下記の通りです。()は責任者

※ 「5. 2 環境活動取組計画の評価」も参照ください

(1) 電気使用量削減（省エネ）に関する目標・環境経営計画(管理部)

目標：2022 年度より 1%削減し、二酸化炭素排出量を削減する取組を行う。

環境経営計画：

- ・エアコンの適正管理を実施する
- ・エアコンフィルターの定期的な清掃を行う
- ・小型ファンを設置し、エアコンの電力使用量を削減する
- ・不在時消灯、休憩時間の消灯を徹底する
- ・パソコン等 O A 機器について、可能であれば省エネモードにする
- ・ブラインドの調整による自然光の活用あるいは熱気遮断を行う
- ・エアコン、照明器具等の新設の際は、省エネタイプ（含 LED）を選定する

(2) 水使用量の削減(管理部)

目標：事務所の水使用量はほとんどがお茶、トイレである。したがって数値目標を設定せず、水使用量を管理し削減取組を行うことを目標とする。

環境経営計画：

- ・無駄な水使用を無くし、節水意識を向上させる
- ・工事現場においても、無駄な水使用を無くし、節水を指導する（佐藤）

(3) コピー紙購入量（A4 換算）の削減(管理部)

目標：2022 年度実績の 1%を削減することを目標とする。

環境経営計画：

- ・無駄なコピー、失敗コピーを無くし、購入量を削減する
- ・可能であれば書類を電子化し、印刷しない
- ・両面印刷で紙の使用量を削減する
- ・可能な限り裏紙を使用する

(4) 廃棄物排出量の削減(工事部、管理部)

目標：事務所の一般廃棄物（ゴミ類）はほとんどありません（前述）。また、工事現場での産業廃棄物排出量については、工事内容により大きく異なります。したがって一般廃棄物（ゴミ類）、工事現場での産業廃棄物排出量については、いずれも数値目標を設定せず、廃棄物を削減する取組を行うことを目標とする。また、工事現場での産業廃棄物(コンクリート殻・アスファルト殻・がれき類等)排出量の排出量管理と再資源化率 100%を維持することも目標とする。

環境経営計画：

- ・裏紙の活用を図り、分別を確実に行う（管理部）
- ・工事現場においては、廃棄物の分別・リサイクル化を指導する（工事部）

(5) 自らが施工・販売・提供するサービスに関する項目（工事部）

目標：工事における環境負荷を削減する取組・指導を行う

環境経営計画：

- ・低騒音型重機（タイヤローラ、削岩機等）の優先使用を指導する
- ・省エネ型重機（バックホウ、コンプレッサ等）の優先使用を指導する
- ・ICT 機器の活用による業務効率化を行い、下請け業者の働き方改革を推進する

「グリーン製品の購入」については目標とはせず、可能な限り再生紙等事務用品のグリーン製品を購入に努めることとした。

5. 2023 年度の環境経営目標及び主要環境経営計画への取組の実績・評価

2023 年度の環境経営目標及び主要環境経営計画の実績・評価は、次の通りです。

5. 1 環境経営目標の実績と評価

項目	単位	目標	実績	達成率(%)
電気使用量	kWh/年	1, 153	1, 060	109
参考 二酸化炭素排出量	kg- CO ₂ /年	569	523	-
水使用量	m ³ /年	数値目標なし	3. 5	-
コピー紙購入量（A4 換算）	枚/年	13, 761	15, 050	91
産業廃棄物排出量	t /年	数値目標なし	87	-
産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100

達成率(%) = 目標 / 実績

- ・電気使用量（二酸化炭素排出量）については、環境経営目標達成となりました。環境経営計画の徹底実施による効果もあったが、新型コロナ感染が若干おさまり、中間期以外の窓を開けての冷暖房が少なくなったためと考えています。通年の空気清浄機(4 台)稼働は続けました。
- ・コピー紙は見積もり・申請書類・工事完了書等の提出に使用しています。2022 年度が大幅に減少(目標達成率 141%)したため、2023 年度コピー紙購入量は増加したが、例年通りと考えています。
- ・産業廃棄物は、コンクリート殻・アスファルト殻等が 87t ありました。

- ・水使用量、一般廃棄物排出量の削減取組も順調に実行できています。
- ・工事の環境負荷を削減する取組は、使用機械の騒音・排出ガス基準に適合することおよび省エネを指導いたしました。
- ・なお、2023 年度も事務用品・文房具類（ボールペン、コピー紙など）でグリーン購入を行いました。

5. 2 環境活動取組計画の評価（○：達成、△：ほぼ達成、×：未達成）

(1) 電気使用量（二酸化炭素排出量）：環境経営計画(管理部)

- ・エアコンの適正温度管理を実施する(△)
- ・エアコンフィルターの定期的な清掃を行う(○)
- ・小型ファンを設置し、エアコンの電力使用量を削減する(○)
- ・不在時消灯、休憩時間の消灯を徹底する(○)
- ・パソコン等OA機器について、可能であれば省エネモードにする(○)
- ・ブラインドの調整による自然光の活用あるいは熱気遮断を行う(○)
- ・エアコン、照明器具等の新設の際は、省エネタイプ（含 LED）を選定する
（新設はなかった）

(2) コピー紙購入量（A4 換算）：環境経営計画(工事部・管理部)

- ・無駄なコピー、失敗コピーを無くし、購入量を削減する(○)
- ・可能であれば書類を電子化し、印刷しない(○)
- ・両面印刷で紙の使用量を削減する(○)
- ・可能な限り裏紙を使用する(○)
- ・工事現場においては、廃棄物の分別・リサイクル化を指導する（佐藤）(○)

(3) 水使用量：環境経営計画(工事部・管理部)

- ・無駄な水使用を無くし、節水意識を向上させる(○)
- ・工事現場においても無駄な水使用を無くし、節水を指導する(○)（工事部）

(4) 廃棄物排出量：環境経営計画(工事部・管理部)

- ・裏紙の活用を図り、分別を確実に行う(○)（管理部）
- ・工事現場では、廃棄物の分別・リサイクル化を指導する(○)（工事部）
弁当がらなどの混入はなく、必ず持ち帰るようにしている。

(5) 自らが施工・販売・提供するサービスに関する項目：環境経営計画（工事部）

- ・低騒音型重機（バックホウ等）の優先使用を指導する(○)
- ・省エネ型重機（バックホウ等）・自動車の優先使用を指導する(○)
- ・ICT 機器の活用については機会がなく、事例はありませんでした。

6. 2024 年度以降の環境経営目標と環境経営計画の取組

電気使用量（二酸化炭素排出量は参考値）およびコピー紙購入量については、従来通り「前年度の 1%削減する」とします。ただし、CO₂排出係数については 0.434 kg-CO₂/kWh（関西電力 2022 年度の CO₂調整後排出係数 2023 年 12 月 22 日経済産業省および環境省より公表）を用います。

水使用量、廃棄物及び自らが施工・販売・提供するサービスに関する項目は数値目標とせず、2024 年度環境経営計画の取組実行を環境経営目標として継続します。

環境経営計画については、「4. 2 2023 年度の環境経営計画」を 2024 年度以降も継続します。また、環境経営方針にある「工事現場等の事前環境調査及び環境に優しい資材の採用と資材の使用合理化に努めます」および「経営における課題とチャンスをつまみ、必要に応じ中長期的環境経営目標を設定し取り組みます」については、いずれも中長期的環境経営目標とし、2024 年度スタート時は具体的な環境経営計画については策定せず、工事受注時に設定できる項目があれば設定いたします。なお、経営における課題とチャンスをつまみ中長期的環境経営目標については、工事の機会を見て ICT 機器の活用による業務効率化を行い、下請け業者の働き方改革を推進するとします。

数値を設定した目標

項目	単位	2023 年度 (実績)	2024 年 (目標)	2025 年度以降 (目標)
電気使用量	kWh	1,060	1,049	2025 年度以降については前年度の 1%削減を目標とする
(二酸化炭素排出量)※	kg-CO ₂	460	455	
コピー紙購入量 (A4 換算)	枚	15,050	14,900	
産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100

※ CO₂ 排出係数：0.434 kg-CO₂/kWh（関西電力：2022 年度調整後）

7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。環境関連法規制等への違反、訴訟はありません。また、関係当局より違反等の指摘及び近隣等からの環境上の苦情等也没有ありません。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理 (A,B2,D,E) マニフェスト交付状況報告書の提出	遵守
建設工事にかかる資材の再資源化等に関する法律	対象工事の届け出書 分別解体の実施と再資源化 現場ごとに標識の掲示	該当なし
振動規制法	特定建設作業の届出 市町村長に 7 日前まで 敷地境界線での規制基準の遵守 (75dB 以下)	該当なし
騒音規制法	特定建設作業の届出 市町村長に 7 日前まで 敷地境界線での規制基準の遵守 (85dB 以下)	該当なし
兵庫県環境の保全と創造に関する条例	地域別騒音基準の遵守(85dB) 地域別振動基準の遵守	該当なし
河川法(水質汚濁防止法)	河川への排水	該当なし

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

EA21 認証・登録時を含め 6 回目の環境経営レポートです。

弊社は建設工事管理主体の建設会社ではあるが、受託した工事はすべて関係の下請け会社に委託し、工事の進行管理業務のみを行っております。したがって、ほとんどが事務所作業・現場監督で、弊社自体の環境負荷は極めて小さいものです。

弊社事務所隣の廣川建設株式会社様が従前から行われている環境保全活動を手本として見習い、推進してきました。したがって、EA21 環境活動も違和感なく推進できていると感じています。2023 年度環境経営計画のほとんどを誠実に実行できていますし、環境経営目標も一部未達もありますがよく達成されています。

今後ともこの EA21 環境活動を継続し、一層の環境活動の推進と全員の努力で、今後のさらなる成果を期待したい。

環境経営方針	変更なし
環境経営目標	変更なし
環境経営計画	変更なし
実施体制	変更なし

見直し年月日：2024 年 8 月 8 日

代表者：広川 静子



管渠更生工